

報道関係者各位

2022 年 2 月 10 日

ケイアイチャレンジドアスリートチーム 2021 年は活動の幅を大きく拡大

障がい者アスリートチームの活動を通じ パラスポーツ支援と地域貢献を強化

ケイアイスター不動産株式会社（本社／埼玉県本庄市、代表取締役／塙 圭二、以下「当社」と言う。）のケイアイチャレンジドアスリートチームは 2021 年において、それぞれの競技の強化だけでなく、パラスポーツ体験会や社内研修を行いながら、積極的にそれらの情報を発信してまいりました。

これにより外部団体と共同でパラスポーツ体験会やイベントを開催する機会が増えるなど、パラスポーツの普及活動や障がいへの理解促進に繋がる活動の幅を広げる結果となりました。



アスリートチーム 2021 年 主な活動

● イベント出演

2021 年 3 月 24 日には東京都のパラスポーツの応援プロジェクト「TEAM BEYOND」にて、団体登録している企業がパラスポーツ支援に取り組むきっかけを作ることを目的として行われたセミナーに登壇し、当社のパラスポーツ支援の取り組みの事例を紹介しました。

2021 年 8 月 24 日には東京都立大学 健康福祉学部が主催するパラスポーツのすそ野拡大・共生社会の形成を目的としたオンラインイベントに出演しました。その他にもテレビ・ラジオ出演をはじめ様々なメディアに約 10 件以上も紹介をされました。

東京都立大学
パラスポーツ オンラインイベント

PARA SPO YOUTUBE EVENT

2021年8月24日(火) 配信開始

パラスポーツリレーションシップ
パラアスリート & 義足ダンサー 座談会

都立大公式YOUTUBEチャンネルより
ご覧いただけます。

●出演ゲスト

- デフフットサル日本代表 山本 典城 監督 岩瀬 亜依 選手
- デフバドミントン日本代表 落合 啓士 さん
- 元チャタースキー日本代表 野島 弘 さん
- 義足ダンサー 大前 光希 さん

●イベント内容

- 義足ダンサー大前光希さんによるダンス披露
- ゲストによる競技紹介
- ゲスト同士の座談会 テーマ：障がいとスポーツ

東京都立大学 健康福祉学部

YouTube 都立大Channel

プログラム(予定)

14:00 主催者挨拶

14:05 企業の取組事例①(事前収録)

「VR動画を活用したパラスポーツ疑似体験
～新たな日常に対応したパラスポーツの普及促進と障がい者理解～」(R)
株式会社リクルート

「一人ひとりが働く豊かな世界の実現」をビジョンとして掲げている。本ビジョンに基づいて、障がいの有無にかかわらず誰もが活躍できる社会の実現を目指し、「リクルート」(R)という障がい者理解を促進していく活動を通じて、パラスポーツの活動の一環として、パラスポーツ体験やアスリートによる講演、アスリート支援などを実施している。

新たな日常に対応したパラスポーツの普及促進および障がい者理解のきっかけ作りとして、VR動画を活用したパラスポーツの疑似体験を行う。企業や学校など人により障がい者理解を促進するイベント等の中でVRコンテンツを数度提供した。この機会に、VRコンテンツを体験している。

※パラスポーツ「パラダイムシフト(考え方の変化)」と「リクルート(つながり)」の両面から

総務 智博氏 オリンピック・パラリンピック準備室 兼 サステナビリティ推進室

14:35 企業の取組事例②

「社内アスリートチームによる地域社会への貢献活動など」(R)
ケイアイスター不動産株式会社

2015年よりパラスポーツの活用を開始し、現在5名のアスリート(車いすバスケットボールやデフフットサルなど)を社員として雇用。2019年4月より、広域化するアスリートの需要、企業全体で必要とする風土の醸成などを目的として、「ケイアイチャレンジアスリートチーム」を組織し、社内・社外での内定者や学生などの募集、イベントへの参加、社内・社外での研修会の実施等、地域・教育機関と連携してパラスポーツの認知度、関心度の向上を目指して日々活動を実施。

また、パラリンピック競技とアスリートが競技の経験を通して得るべき成長として、デフスポーツの認知度の向上、アスリートだけでなく、指導者やスタッフなど関わる人たちの増進とサポートを目指して取り組んでいる。

山本 典城氏 統括開発本部 PR課 兼 ケイアイチャレンジアスリートチーム

14:55 質疑応答

15:00 トークセッション(「ケイアイスター不動産株式会社」)

「パラリンピック競技とデフリンピック競技の垣根を越えるための活動、スタッフの地位向上について」(R)

山本 典城氏 [デフフットサル女子日本代表監督]

【経歴】
2015年W杯で史上初の予選決勝を戦い、日本をアジアに押し上げ、2019年W杯では過去最高世界5位に輝く。2023年W杯までの監督就任が決定し、世界の王者を目指す。

【経歴】
2015年 デフフットサルW杯 6位 2018年 デフフットサル日本代表監督 優勝
2019年 アジア太平洋選手権大会 優勝 2019年 デフフットサルW杯 5位

森 紀之氏 [車いすバスケットボール・車いすバドミントン]

【経歴】
アデコ・東京のパラリンピアンとして活躍し、リオ五輪等の世界大会にて解説者を兼ねるなど車いすバスケットボールを盛り上げた立役者のひとり。現在は車いすバドミントンにも挑戦し活動の幅を広げている。

【経歴】
2005年 北九州府県選手権出場 2004年 アデコ/パラリンピック出場
2006年 アムステルダム府県選手権出場 2008年 北京パラリンピック出場
2014年 仁川世界選手権出場

岩瀬 亜依氏 [デフフットサル・デフバドミントン]

【経歴】
数々の国内選手権大会にて優勝者選手、MVP等を受賞。2018年デフフットサルW杯ではキャプテンとして過去最高位である5位に輝く。2023年W杯での世界一を目指し、活躍中。

【経歴】
2013年 デフリンピック出場(デフバドミントン) 2015年 デフフットサルW杯 6位
2018年 デフバドミントンW杯アジア予選 優勝 2019年 アジア太平洋選手権大会 優勝
2019年 デフフットサルW杯 5位

15:25 質疑応答

● パラスポーツ体験会の実施

2021 年 11 月 27 日には学校法人智香寺学園正智深谷高等学校の 3 年生を対象にパラスポーツ体験会を実施しました(※1)。パラスポーツ体験会では車いすバスケットボールとデフ(※2)フットサルの体験を通し、それぞれの競技の面白さや奥深さを感じてもらい、パラスポーツをより身近に感じ、興味を持ってもらうきっかけを創出しました。

※1…日本代表選手が指導するパラスポーツ体験会を開催(2021.12.7)

https://ki-group.co.jp/keiai_magazine/2021/12/07/taikenkai/

※2…「デフ」とは英語で「deaf（聞こえない人、聞こえにくい人）」という意味で、ろう者（デフ）フットサルとは、聴覚障がい者のフットサルであり、競技中は補聴器を外すことが義務付けられていることから「音のないフットサル」の愛称で呼ばれています。ピッチ上ではアイコンタクトや手話でコミュニケーションを取っています。ルールは健常者と変わらず、唯一違うのは主審も旗を持っており、笛と旗で合図する点です。



● アスリートチーム公式サイト公開

チーム設立の目的や所属アスリートのプロフィール、活動内容など、より詳しい情報を発信するため、2021年11月24日にアスリートチーム公式サイトを公開致しました。

従来、所属アスリートやチームの活動はSNSを中心に発信してまいりましたが、日本代表に選出される所属アスリートも増え、競技だけではなく公式試合で解説をするアスリートもいるなど、チーム発足以来、年々活躍の場が広がりました。そこで、チームに関する情報の統一的な掲載・発信のため、公式サイト公開に至りました。

公式サイト：<https://www.athlete.ki-group.co.jp/>



● 障がいをお持ちの方のご来店を想定した接客シミュレーション研修を実施

当社の社内においては、障がいをお持ちの方がご来店された場合の対応や、従業員と当社所属の障がい者アスリートとのコミュニケーションの活性化を目的として、ケイアイチャレンジドアスリートチームによる接客シミュレーション研修を企画しました。2020年11月～2021年6月の期間中、当社グループの販売店8店舗で実施いたしました（※3）。

この研修を体験した従業員からは「障がいをお持ちの方に対する不安が減った」「普段自分達では気づけない目線での指摘や気づきをもらった」などの多くの肯定的な意見をいただきました。また研修実施前には約半数の方が障がい者と接したり、あるいは接客することに対して不安を抱えていましたが、研修実施後はその不安が解消されたと、参加したすべての従業員が回答し、満足度も100%の結果となりました。



※3…障がい者アスリートチームによる接客シミュレーションをグループ8店舗で実施（2021.7.27）

https://ki-group.co.jp/keiai_magazine/2021/07/27/keiaiathleteteam/

● 世界大会での銀メダル獲得

ケイアイチャレンジドアスリートチーム所属の佐藤正樹選手は2021年10月27日～30日にフランスで開催された世界ろう者柔道選手権大会の66kg級にて日本代表として出場し、銀メダルを獲得しました（※4）。



※4…佐藤正樹選手 世界ろう者柔道選手権大会にて銀メダル獲得！（2021.11.05）

https://ki-group.co.jp/keiai_magazine/2021/11/05/satou2/

「佐藤選手・蒲生選手見事銀メダル獲得！」（一般社団法人日本ろう者柔道協会）

<https://www.jfd.or.jp/jdja/arc/729>

今後について

ケイアイチャレンジドアスリートチームは、トップアスリートとして高いレベルでのトレーニングと競技を続けながら、社内の業務に携わるほか、パラスポーツ認知向上のためのイベントや体験会などの活動を通じて、自社の事業や社会へ貢献しております。

今後も様々な活動や取り組みを通し、多様な人材の活躍やサステナビリティ推進を通して、当社のビジョンである「日本一憧れの会社」の実現を目指してまいります。

■ ケイアイチャレンジドアスリートチームとは

「日本一挑戦するアスリートチーム」を理念として、障がい乗り越えるだけでなく、さらなる高みを目指してチャレンジを続けるパラアスリート集団です。2019年4月に当社所属の障がい者アスリート5名でケイアイチャレンジドアスリートチームを発足しました。

現在は日本代表選手を含む、「デフフットサル」、「デフサッカー」、「ろう者柔道」、「車いすバスケットボール」、「車いすバドミントン」の各競技に計9名のアスリートが所属しています。



ケイアイチャレンジドアスリートチームは、トップアスリートとして高いレベルでのトレーニングと競技を続けながら、社内のミーティング参加、研修講師や商品開発などの業務に携わるほか、イベントや体験会などで本庄市や本庄市内の教育機関と連携したパラスポーツ認知向上のための活動を行っています。これまで、本庄市内のジュニアスポーツ大会や学校での体験会を行うなど、延べ800名以上の方々にパラスポーツを体験していただきました。

公式サイト：<https://www.athlete.ki-group.co.jp/>

■ケアイスター不動産とは

「豊かで楽しく快適な暮らしの創造」を経営理念に、「すべての人に持ち家を」をミッションとし、『高品質だけど低価格なデザイン住宅』を提供しています。仕入れから販売までの業務フローにITを導入した「KEIAI プラットフォーム」により戸建住宅のサプライチェーンを最適化。抜本的な効率化・生産性の向上により、コンパクトな区画の分譲住宅供給で国内トップクラスの実績を誇ります。

戸建分譲事業を中心に、1都14県（埼玉、群馬、栃木、茨城、千葉、神奈川、福岡、愛知、静岡、宮城、福島、佐賀、熊本、兵庫）で展開。年間5,000棟（土地含む）以上を販売（※）しています。2021年3月期の売上高は1,557億円（※）。一般社団法人日本木造分譲住宅協会の立上げに参加し、国産木材の利用を促進するなどESGにも力を入れています。

2021年、経済産業省「新・ダイバーシティ経営企業100選」「DX認定事業者」認定、「2021年度グッドデザイン賞」受賞。（※グループ連結数値）

【会社概要】

社 名	ケアイスター不動産株式会社（コード番号：3465 東証一部上場）
代 表	代表取締役 塙 圭二
所 在 地	〒367-0035 埼玉県本庄市西富田 762-1
資 本 金	4,809 百万円（2021.9.28 現在）
設 立	1990 年 11 月
従業員数	2,019 名（連結 / 2021.4.1 現在）
U R L	https://ki-group.co.jp/
事業内容	戸建分譲事業、注文住宅事業、総合不動産流通事業 ほか

【報道関係者からのお問合せ先】

ケアイスター不動産株式会社 戦略開発本部 PR 課

TEL：03-6259-1750 FAX：03-6551-2567 E-mail：press@ki-group.co.jp